

祝 ~2021・学院創立110周年~ 母校の未来に光あれ~3万余の同窓生 今心ひとつに~



発行 九州学院同窓会
責任者・山崎恒雄
編集人・小手川勲
熊本市中央区大江5丁目2-1
九州学院内
096-366-4533
<http://www.kyugakudousokai.jp/>
題字は 紫垣正弘・元同窓会会長



熱い祈りと献金で 学院が誕生

~ルーツは米国のルーテル教会~

九州学院は、アメリカのキリスト教会(ルター派)から派遣された宣教師チャールズ・L・ブラウン博士らの熱心な呼びかけに応えたアメリカの教会の人々の熱い祈りと献金によって生まれました。1991年の創立80周年を機に男子校から共学となり、現在の卒業生は約3万人を数え、社会の様々な分野で活躍中です。2021年に創立110周年の大きな節目を迎え、創立の精神に立ち返りつつ九州学院の新たな未来に向けて、たゆみない発展を続けています。

2021九州学院同窓会定期総会を開催 〜懇親会はコロナ禍により中止に〜

4月16日(金)午後6時より「2021九州学院同窓会定期総会」を九州学院キャンパスのブラウン・メモリアル・チャペルにて開催しました。総会には約40人が出席し、松永修尚企画委員長(S34回)の司会進行で行いました。山崎恒雄同窓会会長(S21回)・阿部英樹九州学院院長(S28回)の挨拶の後、三浦陽二氏(S28回)・吉永王起氏(S28回)が議長団に選出され、杉本素一事務局長(S39回)により令和2年度活動報告、同決算

報告、令和3年度活動計画、同予算案などの審議がなされ満場一致で可決されました。今年は二年に一度の役員改選の年ではなく、現役員体制で同窓会を運営して参りますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。

2021同窓会活動計画

- 4月●同窓会定期総会を実施
- 5月●奨学金授与式10年費について依頼
- 6月●同窓会新聞発行●同窓会会員広告発行
- 9月●常任幹事会
- 10月●奨学生・給費生を励ます会●高校3年役員に10年費について依頼
- 11月●「九学通信」に「同窓会だより」を記載
- 令和4年1月●若手副会長会は、適宜開催の予定

震災復興特別募金にご協力を

九州学院同窓会 会長 山崎 恒雄 (S21回)



5月末現在、全国主要都市は緊急事態宣言、熊本もまん延防止等重点措置によりコロナ感染終息に向けた取り組みが行われています。4月の同窓会総会も2年連続でブラウン記念チャペルで行いました。皆様の仕事や私生活における苦悩をお察し申し上げます。

さて、「九州学院創立110周年記念式典」も当初予定の規模縮小とオンライン併用の案で検討されています。厳しい現状の中、震災復興特別募金も最終年度を迎えました。

現在、募金は予定額の73%強の実績です。令和4年3月までの期間に少しでも上積み出来ればと思います。芳名板には、寄付者を各学年別に卒業回順で列挙する予定です。

半永久的に残されます。募金額の大小は関係なく掲載しますので、母校九州学院への震災復興特別募金にご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、同窓会事務局の強化と育英奨学基金の充実を図る為の、同窓会新聞に同封します同窓会員による広告募集も2回目を数え、掲載社数も着実に増えてきました。お陰様で事務局は、小手川勲(S24回)広報担当、村上洋也(S25回)参与、竹原聖子(S51回)事務員の3人体制が整い、充実した運営が行われています。また、学校事務の木庭浩一氏(S28回)にも卒業生への連携をとっていただいております。

広告と、終身会費・年会費納入の方々のご協力もあって、今期は、育英奨学基金の増資をし、九州学院に目に見える形で貢献したいと思っております。広告は次回より、QRコードによる充実とカラー化を考えたと思っております。コロナ禍でも、同窓会の活性化は着実に進んでいます。コロナの終息と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

同窓会若手の会会長が木村雄治氏(S49回)から松藤太門氏(S50回)に変わりました。大同窓会の若い層の参加者の促進やチャペル成人式のお世話など同窓会活動の若き原動力としての活躍が期待されます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。



聖火トーチを掲げる2人のオリンピック

若手の会新会長に松藤太門氏(S50回)が就任されました。今回は世界のどこからでも同窓生が心をひとつにして母校の創立110周年をお祝いすることが出来ます。なお、式典やイベント等の詳細につきましては追って九州学院HPにてお知らせ致します。

名譽ある聖火ランナーにはモスクワ五輪日本代表の木庭浩一氏(S28回)、北京五輪メダリストの末續慎吾氏(S51回)二人のオリンピック、デザイナーの田山淳朗氏(S25回)の他に、松岡隆志氏(S34回)、三角雄介氏(S47回)、松本啓佑氏(S51回)、野村和矢氏(S58回)の計7人の九州同窓生が聖火トーチを繋ぎました。県内最後のステージで、ラストランナーの末續慎吾氏が聖火台に点火して無事終了しました。

祝・創立110周年 11月19日に記念式典

11月19日(金)に桜町の熊本城ホールで創立110周年記念式典が予定されています。当日は記念礼拝・式典の様子がリアル配信されますが、場所にとつにして母校の創立110周年をお祝いすることが出来ます。なお、式典やイベント等の詳細につきましては追って九州学院HPにてお知らせ致します。

東京五輪の聖火リレー 7人の同窓生がトーチランナーに

東京五輪の聖火リレーが福島を3月25日に出発し、5月5日、6日に熊本県内を巡りました。名譽ある聖火ランナーにはモスクワ五輪日本代表の木庭浩一氏(S28回)、北京五輪メダリストの末續慎吾氏(S51回)二人のオリンピック、デザイナーの田山淳朗氏(S25回)の他に、松岡隆志氏(S34回)、三角雄介氏(S47回)、松本啓佑氏(S51回)、野村和矢氏(S58回)の計7人の九州同窓生が聖火トーチを繋ぎました。県内最後のステージで、ラストランナーの末續慎吾氏が聖火台に点火して無事終了しました。

敬愛寮50周年に想う

初代寮長 瀧口 巖 (S23回)
九州学院創立百周年おめでとうございます。敬愛寮は昭和45年(1970年)に設立され、昨年めでたく50周年を迎えました。設立当初は寮監長として岩崎國春先生、大学を卒業されたばかりの緒方徹先生と生徒76名での船出となりました。知らない者同士が一部屋に4人、同じ屋根の下で同じ釜の飯を食べていると、学年が違っていても50年経った今も声を掛け合う仲間であることは有り難いことです。色々な思い出が有りますが、高校生の一番食べ盛りのため夕飯をしっかり食べても夜、食堂へ再び行く者が多数、早く行かないと飯が無くなる。そんな光景が何度もありました。今でも続いているかもしれません。

また、当時は男子校だったので、女子高校生との交流がどうしてもできるかを一生懸命考えた記憶があります。隣には女子高校があったので、窓からいつも誰かが見ていたり等、まだまだここに書けない思い出が甦ってきます。寮生活は誰もが経験できることではありません。それぞれの人生の中で多くの経験を積んで、その経験を多くの人に役立てて欲しいですし、九学健児は「敬天愛人」にもあるように多くの人を愛する人生であって欲しいと願っています。

シリーズ 羽ばたく同窓生

全日本剣道選手権女子 で諸岡三段が初優勝 諸岡温子氏(J69回)

3月14日(日)、長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」で開かれた、第68回全日本剣道選手権と第59回全日本女子選手権において、諸岡温子三段(J69回・中央大2年)が女子の頂点に立ちました。



九学OB4人が熊本 市親善大使に就任 村上宗隆氏(S70回)

今年もヤクルト4番打者として活躍を続ける村上宗隆選手(S70回)が、このほど「熊本市親善大使」に就任しました。同大使には熊本市の魅力を広げ、国内外にPRすべく、市ゆかりの著名人が任命



り、今年は九学出身の大使がなんと4人となりました。まさに役に立つ善人としての活躍が期待されます。

されています。今年はその他に歌手の石川さゆりさん、アイドルグループ・HKT48で活躍する田中美久さん等13人が選ばれており、その中に田山淳朗氏(S25回)、末續慎吾氏(S51回)、高良健吾氏(S58回)の名前もあり、その中に田山淳朗氏(S25回)、末續慎吾氏(S51回)、高良健吾氏(S58回)の名前もあ



日はNHK大河ドラマ「青天を衝け」で好演している高良健吾氏(S58回)が舞台挨拶に立ち、同氏出演の「くれなずめ」などがオープニング上映されました。

肥後宗像家に関する文書で新発見 花岡興史氏(S32回)

九州大学比較社会研究院の学術研究者花岡興史氏(S32回)は、球磨郡多良木町の依頼で、世界遺産・宗像大社(福岡県宗像市)の大宮司宗像家の子孫とされる肥後宗像家に関する文書調査を行い、



九州大学比較社会研究院の学術研究者花岡興史氏(S32回)は、球磨郡多良木町の依頼で、世界遺産・宗像大社(福岡県宗像市)の大宮司宗像家の子孫とされる肥後宗像家に関する文書調査を行い、この時期に実施しているものです。

新卒代表・同窓会役員 恒例の懇親会を開催

2月25日(木)、高校3年生卒業式前登校日の放課後、1号館会議室において九州学院同窓会主催による「新卒生クラス代表と同窓会役員との懇親会」が行われました。この催しは同窓会の新たな仲間となる新卒生とのクラス代表と同窓会幹部との連携強化と親睦を目的に、毎年この時期に実施しているものです。



小早川秀秋や熊本藩主の細川忠利からの書状など4点を新たに確認しました。

「それまで宗像家の子孫は断絶したと言われていたが、この調査により宗像という名前

を伝えて肥後に来ているということが一番重要」(花岡氏談)

多良木町は調査報告書を限定販売するほか、古文書を9月から町の埋蔵文化財等センターで公開の予定です。

成績優秀者に対し 同窓会から奨学金

5月10日(月)、1号館会議室において2021年度九州学院ナルドの壺奨学生に対する認定証式が行われました。

この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として1983年から九州学院同窓会が始めた育英奨学事業が、2015年から「九州学院ナルドの壺基金」に組み入れて継続しているものです。

現在、中高に在籍する奨学生A有資格者の中から特に優秀であると認められた人に対して奨学金を支給しています。

天皇皇后両陛下と懇談 ～草村高森町長(S38回)や児童ら～

阿蘇郡高森町の草村大成町長(S38回)、佐藤増夫教育長(S20回)、馬原恵介前教育委員会事務局長(S33回)の九学OBトリアは、全国に先駆けて高森町の小学校教育のデジタル化を推進してきました。

そのことが評価され天皇皇后両陛下のこどもの日にちなんだ児童施設訪問として高森中央小学校が選ばれ、5月12日(木)午後1時に東京・赤坂御所と高森町をインターネットで結んで両陛下が同小の児童とオンラインで懇談される栄えある機会に恵まれました。

両陛下は、町内の児童1人に1台タブレット端末を配付するなどの教育のデジタル化の取り組みについて、草村町長、佐藤教育長から説明を受けられ、児童とも懇談されました。

草村町長は「熊本地震や豪雨災害についてお見舞いの言葉を



左から佐藤氏、草村氏、馬原氏

をいただき、10年前から進めてきた私達のICT教育の取り組みにも、関心を持っていただき感謝しております」と喜びを語りました。

同窓生の新刊本などの紹介

「われ山にむかいて目をあぐ」長岡立一郎(S17回)著(有限会社リトロン発行・1800円+税)

「負けない花」(熊本地震復興応援ソング・CD)山口文徳(S29回)作 詞・作曲(歌・桜伊織)

同窓会終身会費 納入者に記念品

2020年1月から同窓会終身会費(満60歳以上一括1万円、60歳未満は2万円)を納入された方に返礼として有田焼の特製九学バッチをお渡ししています。

なお、年会費は2000円となっていますので皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

「真夜中のメロスたち」葉山耕司(S32回)編著(株)ジーエークレラス・1000円+税)

「あひるの大冒険」島田彰治(S26回)著(幻冬舎(電子図書)・900円+税)

今年度の育英奨学金支給対象者は新入生を含めて中学生3人、高校生3人が選ばれ、授与式では阿部院長・校長と青山育英奨学委員長が激励の言葉を述べ、奨学生一人一人に認定証と奨学金を手渡しました。

お祝いメッセージと広告掲載のお願い
母校九州学院の110周年記念式典・KGSスタイルフェスの特設ウェブサイトにおいて、同窓の皆様からのお祝いメッセージと広告を受け付け中です。

(S1回率は1948年卒業)

九州学院では、1948年度の新制高校の第1回の卒業生(1946年入学)をSenior(高校)の頭文字をとってS1回、新制中学校卒業生は1948年が第1回となり、J(Junior)1回と呼びます。因みに2021年3月の卒業生はS73回、J74回です。



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を

松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が家族会で活動中。